

# 安全データシート

作成日 2007年 5月22日  
改訂日 2022年 5月 9日

## 1.製品及び会社情報

製品名： ファインコートSP  
会社名： オバナヤ・セメントテックス株式会社  
住所： 三重県いなべ市北勢町東村1339  
電話番号： 0594-72-6488  
FAX番号： 0594-72-6253  
担当部門： 製造部 工場管理課  
整理番号： M4001

## 2.危険有害性の要約

### GHS分類

急性毒性 経口：	分類できない
急性毒性 経皮：	分類できない
急性毒性 吸入(ガス)：	区分に該当しない
急性毒性 吸入(蒸気)：	分類できない
急性毒性 吸入(粉塵、ミスト)：	分類できない
皮膚腐食性／刺激性：	区分2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：	区分2
呼吸器感受性：	分類できない
皮膚感受性：	分類できない
生殖細胞変異原性：	分類できない
発がん性：	分類できない
生殖毒性：	分類できない
特定標的臓器毒性(単回暴露)：	分類できない
特定標的臓器毒性(反復暴露)：	分類できない
誤えん有害性：	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)：	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)：	分類できない
オゾン層への有害性：	分類できない

### GHSラベル要素



注意喚起語： 警告

危険有害性情報： 皮膚刺激  
強い眼刺激

注意書き： 《安全対策》

取扱い後はよく手を洗うこと。  
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

《応急措置》

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当を受けること。

皮膚に付着した場合は多量の水および石鹸で洗い流すこと。水疱、痛みなどの症状がでた場合は、必要に応じて医師の手当てを受けること。

皮膚の刺激が生じた場合、医師の診断／手当を受けること。

汚染された衣類を脱ぐこと。そして再使用する場合には洗濯をすること。

《保管》

容器を密閉して涼しく換気の良い場所で、施錠して保管すること。

《廃棄》

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に委託し、関連法規等を遵守し廃棄すること。

### 3.組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

化学名又は一般名：珪酸リチウム水溶液、スチレン／アクリル酸エステル共重合体エマルジョン

成分及び含有量：

成分名	含有量	官報公示整理番号	CASNo.
珪酸リチウム	9%	1-770	12627-14-4
スチレン／アクリル酸エステル共重合体	22%	既存	-
ジブチルフタレート	0.2%	3-1303	84-74-2
水 その他	～69%	-	-

### 4.応急措置

- 吸入した場合： 空気の清浄な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。  
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合： 多量の水および石鹼で洗い流すこと。水疱、痛みなどの症状がでた場合には、必要に応じて医師の手当てを受けること。
- 眼に入った場合： 直ちに流水で15分以上充分洗浄すること。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、洗浄を続けること。その後、医師の手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合： 水で口の中を洗浄すること。直ちに医師の手当てを受けること。  
必要に応じて、人口呼吸や酸素吸入を行なうこと。  
被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

### 5.火災時の措置

- 消火剤： 粉末消火剤、泡消火剤等
- 使ってはならない消火剤： 情報なし
- 特有の消火方法： 燃焼源の供給を速やかに止めること。消火作業は可能な限り風上から行うこと。  
周囲の設備等に散水して冷却すること。  
消火のための放水等により環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行うこと。
- 火災時の特有の危険有害性： 情報なし
- 消火を行う者の保護： 適切な保護具(耐熱性着衣、手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

### 6.漏出時の措置

- 人体に対する注意事項/  
保護具及び緊急時措置： 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、長靴、ゴーグル等)を着用する。  
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。  
関係者以外の立入を禁止する。  
密閉された場所に立入る前に換気する。
- 環境に対する注意事項： 環境中に放出してはならない。  
河川等に排出され、環境へ影響を及ぼさないように注意する。  
大量の漏洩物の除去や廃棄処理の場合は専門家の指示による。
- 封じ込め及び浄化の方法  
及び機材： 少量の場合、乾燥砂・土・ウエス等に吸収させ回収する。  
多量の場合、まず土嚢や周囲にある土砂等で拡散を防止し、スコップまたは吸引機などで空容器に回収すること。
- 二次災害の防止策： 漏出物の上をむやみに歩かないこと。

## 7.取扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意：	容器から漏出させないようにし、保護手袋・保護眼鏡を着用する。
保管上の注意：	換気の良い屋内(5～35℃)で容器を密閉して保管すること。 特に1度凍結したものについては、凍結前の物性等が回復しないので使用しないこと。

## 8.暴露防止措置

管理濃度：	設定されていない
許容濃度：	設定されていない
設備対策：	出来るだけ密閉された装置・機器を使用する。 取扱い場所は換気を良くする。 取扱い場所の近くに洗眼、水洗設備を設置することが望ましい。

### 保護具

呼吸器の保護具：	必要に応じて保護マスクを使用する。
手の保護具：	保護手袋を使用する。ゴム又は樹脂製が望ましい。
眼の保護具：	保護眼鏡を使用する。ガラス又は樹脂製のゴーグルタイプが良い。
皮膚及び身体の保護具：	保護衣を着用する。厚手の布製で長袖、長ズボンを着用することが望ましい。
適切な衛生対策：	作業後、手をよく洗い、うがいをしてから喫煙、飲食等をする。

## 9.物理的及び化学的性質

物理状態：	液体
色：	乳白色
臭い：	データなし
融点／凝固点：	データなし
沸点又は初留点及び 沸騰範囲：	データなし
引火点：	データなし
自然発火点：	なし
溶解度：	データなし

## 10.安定性及び反応性

安定性：	通常の保管・取扱い条件で安定。
反応性：	データなし
避けるべき条件：	データなし
混触危険物質：	データなし
危険有害な分解生成物：	データなし

## 11.有害性情報

急性毒性 経口：	データなし
急性毒性 経皮：	データなし
急性毒性 吸入(ガス)：	区分に該当しない
急性毒性 吸入(蒸気)：	データなし
急性毒性 吸入(粉じん、 ミスト)：	データなし
皮膚腐食性／刺激性：	区分2 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷のおそれがある物質を含む
眼に対する重篤な 損傷性／刺激性：	区分2 重篤な眼の損傷のおそれがある物質を含む
呼吸器感作性：	データなし
皮膚感作性：	データなし
生殖細胞変異原性：	データなし
発がん性：	データなし

生殖毒性：	データなし
特定標的臓器毒性 (単回暴露)：	データなし
特定標的臓器毒性 (反復暴露)：	データなし
誤えん有害性：	データなし

## 12.環境影響情報

生態毒性：	データなし
残留性・分解性：	データなし
生体蓄積性：	データなし
土壤中の移動性：	データなし
オゾン層への有害性：	データなし
他の有害影響：	データなし

## 13.廃棄上の注意

残余廃棄物：	都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約し、関連法規等を遵守し廃棄する。
汚染容器：	内容物を完全に除去した後に都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約し、関連法規等を遵守し廃棄する。

## 14.輸送上の注意

### 輸送の特定の安全対策

及び条件：

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器の破損、漏れのないことを確かめ、衝撃、転倒、落下、容器破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

### 国内規制

陸上輸送：	消防法、毒劇物取締法、高圧ガス保安法、道路法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送：	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送：	航空法に定められている運送方法に従う。
応急措置指針番号：	該当しない。

国際規制 航空輸送はIATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。

陸上輸送：	RID(欧州危険物鉄道輸送規則)、ADR(欧州危険物道路輸送協会)に従う。
海上輸送：	IMDG(国際海上危険物規則)に従う。
航空輸送：	ICAO-TI(国際民間航空条約技術指針)／IATA-DGR(国際航空運送協会危険物規則)に従う。
国連番号：	分類基準に該当しない。
国連分類：	分類基準に該当しない。

## 15.適用法令

消防法：	非危険物
労働安全衛生法：	表示対象物質に該当しない。 第57条の2 通知対象物フタル酸ジブチル(政令番号479)
毒物及び劇物取締法：	該当しない
化学物質管理促進法：	該当しない

## 16.その他情報

本データシートは作成時又は改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱い情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行ない改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行なってください。